

平成2年8月号
発行 桜木公民館
徳山市城ヶ丘2-4-21
Tel (0834) 28-5973

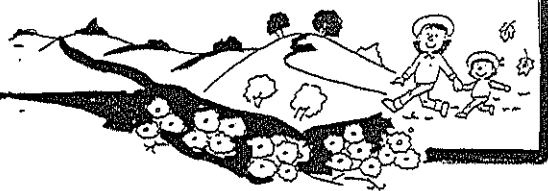
猛暑の夏もなんのその、見よ この熟年・老人パワー

山頂～井戸予定地 伐採完了！

今年の夏は、あついあつい……

さしものファイトマン伴主事もとうとうダウン。ここで、熟年？老人パワーが猛威を發揮。「朝の内なら涼しいよ」と、チェーンソーを持ってとおの山へ。その気力、その執念。8月11日、ついに山頂から井戸予定地点までの立木の伐採が終了しました。

老人クラブの方々に、脱帽！



フィッシュ桜木
225円/箱 7000

7月26日から、実行委員会では企画研究協議を重ねております。最終的には、9月6日の自治会長集会で実施内容が決定されます。



9月中旬、詳細を「予告チラシ」でお知らせします。地区の皆様のご協力をお願いいたします。



▲桜木野球スポーツ少年団V
やったぞ優勝だ！
テレビで放映されたよ

8月19～21日にかけて山口市民球場で行われた、第11回少年野球選手権大会に徳山市代表として出場した桜木野球スポーツ少年団は、桜木地区の皆様の絶大なる御支援のおかげで、優勝することが出来ました。8月26日(日)には、TYSテレビ山口で優勝戦がテレビ放映され、徳山に桜木ありと県民の皆様にとって頂くことが出来ました。

これからも、団員一同皆様に愛される桜木野球スポーツ少年団として頑張ります。今後共よろしく、お願い致します。

戦績	一回戦	桜木	6対0	明木サンライズ(阿武)
	二回戦	"	8対1	伊佐野球スポーツ少年団(美祿)
	三回戦	"	5対0	虹ヶ丘レインボウ(光)
	準決勝	"	8対0	柳井カーブ(柳井)
	決勝戦	"	11対4	厚南クラブ(宇部)

桜木野球スポーツ少年団の皆さんおめでとう！

徳山市民の生涯学習に関する調査

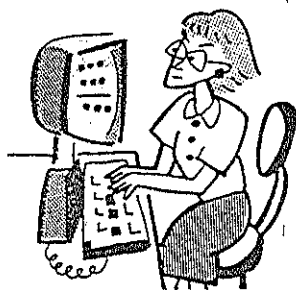
心ゆたかな明日をめざして

日々進展する社会の中で、生き甲斐として、または職業上の新たな知識技術を身につけるために、更には次代を背負う青少年に対して家庭や地域の教育力充実をはかるためには、何時、どこでも、誰でも学べる心豊かな環境が必要です。徳山市では早くから生涯学習推進研究会で研究が進められていたがこのたび

- 1 何が学びたいか
- 2 どんな方法で学びたいか
- 3 いまどんな方法で学んでいるか などについて

市民の意見や実情調査がおこなわれることになりました。

この調査は20歳以上の市民3000人について、余暇と学習の実態、



よろしくご協力を！

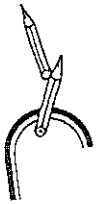
☆ 学習の意向について調査した結果を20項目にまとめこれをもとに本市の生涯学習に関するデータベースをつくとともに、推進の手がかりにしようとするものです。

桜木地区ではすでに154人の対象者が抽出されておりますので、後日自治会長さんから該当者にお問い合わせがあると思います。「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる生涯学習都市「徳山」づくりの基礎データとなりますので、率直にあなたのご意見をお寄せください。

ふるさとと探訪

西久米に残る民間信仰

黒坂政雄



去る一日 私は、桜木三丁目の青木新一氏にお願いして、以前の西久米、万役山等に残る民間信仰の跡を尋ね、それにまつわるお話を聞かせてもらった。

一 天王様と荒神様

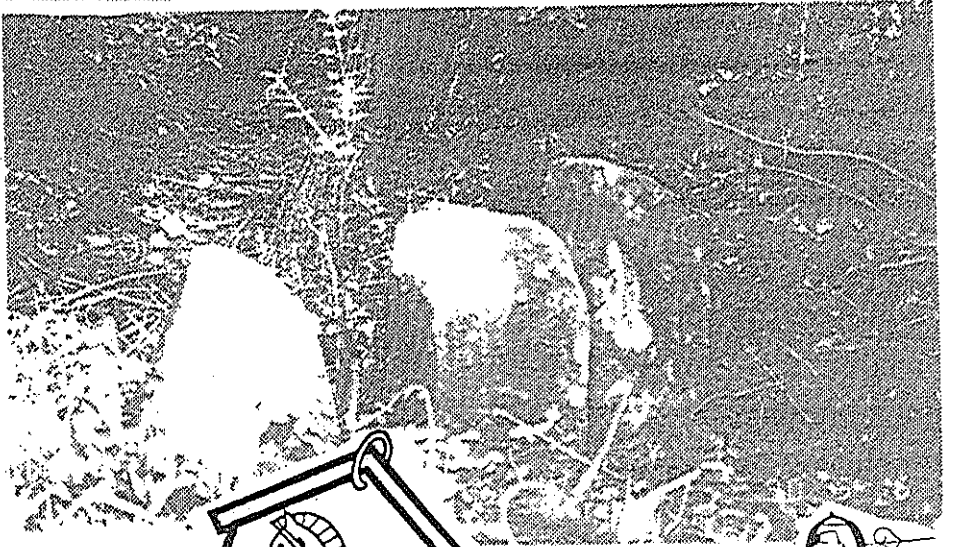
万役山の、桜並木通りに近い小高い所に、荒神様と、天王様の祠と更にもう一つ不明の祠とが安置されている。ここは、数年前まで、桜木小学校の児童が、野外学習や、遊びの場所に使用した所である。だから山の中に、あちこちに通ずる道ができています。

(一) 天王様

上の写真、左の祠が天王様である。右の祠は、不明である。(御存知の方は教えて戴きたい。)

天王様は、以前、今の米沢園芸店付近に祀られていたのであるが、周南団地造成の時、現在地に移転されたということである。

天王様のお祭りは、年一回秋に頭屋が主宰して行われた。権現神社の神本神官さんをお招きし、祭の神事を行った。氏子一同もお参りして、御幣を戴いて帰ったということである。頭屋は当日は御馳走を準備し、氏子とともに祭を祝ったのである。しかしこの祭は、戦争中に絶えてしまったということである。天王信仰は仏教伝来の民間信仰で午頭天王に対するものである。日本では古くから、日本神話の「スサノオノミコト」と習合し、京都の八



坂神社その他各地の神社にも祀らられて祇園社と称して来た。

午頭天王は、本来、行疫神・厄神で、伝染病の流行の時、その厄からまぬがれるために祀った。またその祭礼は、毎年六月十四日に盛大におこなわれたというそれが後に七月十七日となり、これが京都の祇園祭として、全国的に有名な宵祭山鉾巡幸と大変な賑わいで行われるようになった。この天王社の分祠は各地に多く単に天王様と呼ばれていることが多い。そのため、天皇と混同されて、いろいろな伝説もあるということだが、本来は夏季疫病流行の災難からまぬかれようとする信仰に基くものである。

(二) 荒神様

荒神様は、天王祠から七、八米離れた所に安置されている。この荒神様は、現在地より少し下の桜木並木通りに近い所にあったのを、周南団地造成の時に移転されたものである。荒神様は写真のように三基の石が並立されていて、何の刻みもない。この荒神様は年に一度、久米市の橋本某氏が来て祭事を行っていたということであるが、何時の間にかそれも途絶えてしまった。橋本氏は、祈とう師のような方だったという。

黒坂先生から沢山の原稿をいただいております。次回は「薬師如来様」を掲載します。

お楽しみに。

さわやか 家庭教育学級



40人が汗かくの挑戦

去る22日、台風14号接近の予報のなか、折から激しく降り出した雨を待つて40人の親子カップルが来館、秋本、国行両先生指導のもとに作業が始まりました。見かけは簡単に見えても意外と根のつむ仕事、僅かなそよ風にも水を得た泳ぎそのままとあれば、作りかたにも微妙なコツはあろうというもの。工程の段階ごとに小イッスルがひびき、入念なチェックがあつて作品が完成、台風が去って薄日がさす中を、赤いひれを風にのせて、金魚と一緒に親子が帰って行きました。